

# 平成21年度 高知県公共交通利用実態調査【調査結果概要】



## 1. 調査実施概要

### 調査目的

公共交通は、地域の日常生活を支えるだけでなく、観光、ビジネスといった県外との交流を行うにも重要な社会基盤であり、高齢化の進展やCO2削減、省エネルギー社会の実現といった観点からも、その重要性は増している。このような社会情勢の変化等に伴い、公共交通を取り巻く環境は大きく変化している。

そこで、公共交通に対する県民のニーズ、意識等を把握し、これからの運輸交通政策の基礎資料とするため、県民を対象としたアンケートを実施した。

### 調査内容

#### (1) 郵送調査

[調査対象] 高知県全域の満20歳以上の方を対象に人口按分にて各市町村の標本数を算出し、選挙人名簿より無作為抽出して対象者を決定。

[調査方法] 対象者に依頼文、アンケート調査票、新聞広告掲載記事、謝礼ボールペン、返信用封筒を同封し、回答記入及び返送を依頼した。

[調査期間] 平成22年2月19日(金)～平成22年3月12日(金)

※調査票発送:平成22年2月18日(木)、督促はがき発送:平成22年2月23日(火)

#### (2) ヒアリング調査

[調査対象] 路面電車・バス利用者に対する聞き取り調査

・土佐電気鉄道(路面電車) [伊野(始発)、後免(始発)、高知駅前(始発)、はりまや橋(東西線)]

・高知県交通(バス) [堺町(東・西行き)、帯屋町(南・北行き)、南はりまや橋(南行き)、はりまや橋(北行き)]

[調査方法] 電停及びバス停にて対象者を特定し、調査員が口頭で調査協力依頼をし、聞き取りを実施。

[調査期間] 平日調査・平成22年2月18日(木)、休日調査・平成22年2月20日(土)の2日間 調査時間 7:00～19:00(12時間)

### 回収結果

(1) 郵送調査:高知県全域[発送数 7,502名 返送数 3,278名 返送率 43.7%]

(中央地域[返送率 44.2%]、東部地域[返送率 45.1%]、西部地域[41.6%])

(2) ヒアリング調査:平日調査(2/18) 路面電車 366名、バス 314名 計 680名

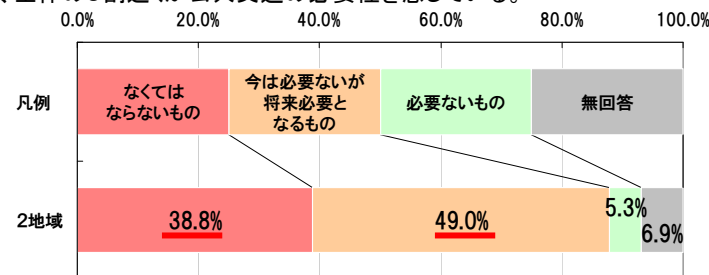
休日調査(2/20) 路面電車 417名、バス 317名 計 734名 2日間合計 1,414名

## 2. 郵送調査結果

### ■2地域:中央地域・東部地域(回答数=2,447名)

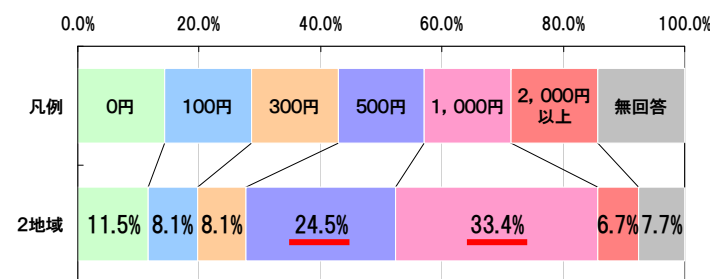
問 公共交通は皆様の利用による運賃収入や、行政支援等により支えられています。あなたにとって公共交通とはどのようなものですか。

○「なくてはならないもの(38.8%)」と「将来必要となるもの(49.0%)」を合わせると、全体の9割近くが公共交通の必要性を感じている。



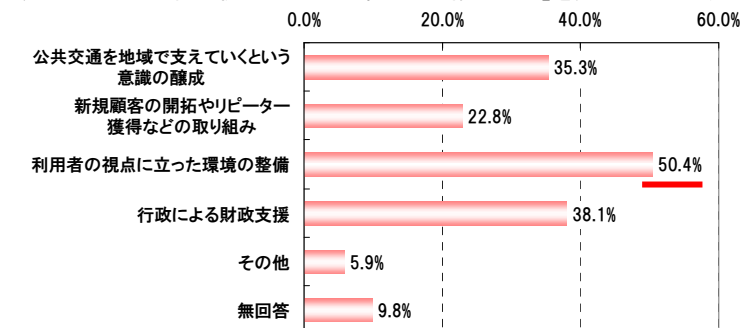
問 これはあくまで仮定の話ですが、もし、地域の公共交通を将来にわたって維持していくために、地域のみならずあなたご負担を頂くとした場合、あなたは年間いくらまでなら負担してもよいと思いますか。

○「1,000円(33.4%)」が3割を占め、次いで「500円(24.5%)」となっている。

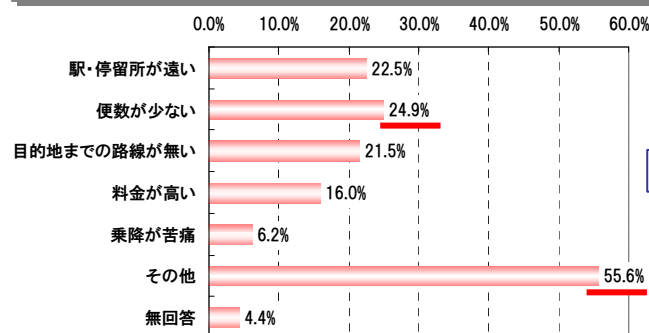


問 地域の公共交通を将来にわたり維持していくためには、どうすることが望ましいと思いますか。(複数回答可)

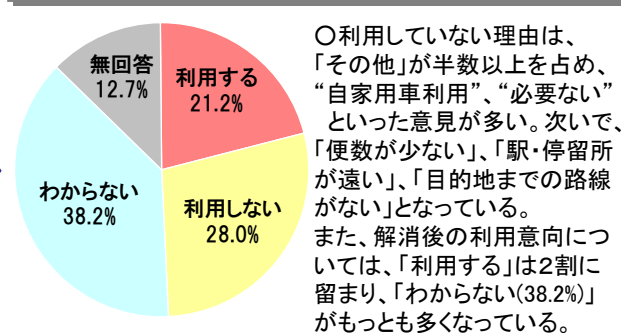
○半数以上が「利用者の視点に立った環境の整備(50.4%)」を要望している。



問 日頃、公共交通を「利用していない」方(987名)の、利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

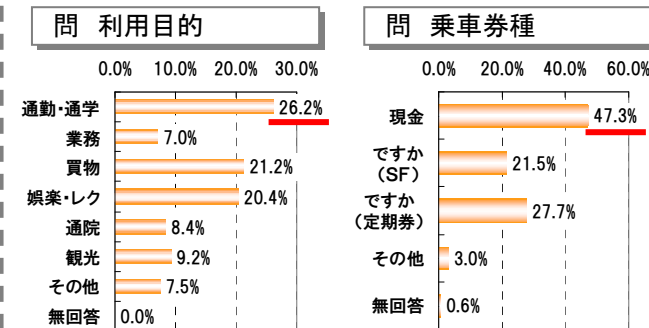


問 日頃、公共交通機関を利用していない理由が解消されれば、公共交通機関を利用しますか。

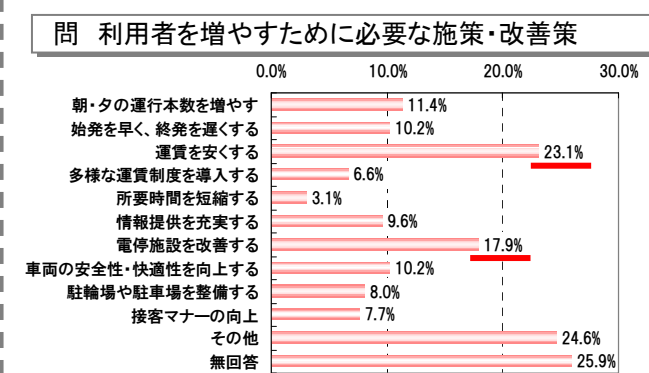


## 3. ヒアリング調査結果

### ■路面電車(回答数=783名)

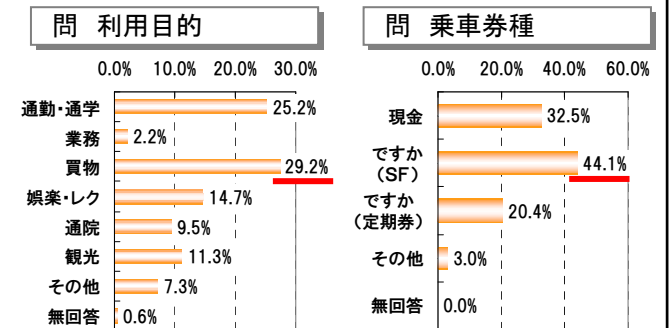


○利用目的は「通勤・通学」、「買物」、「娯楽・レク」となっており、乗車券種は半数近くが「現金(47.3%)」となっている。

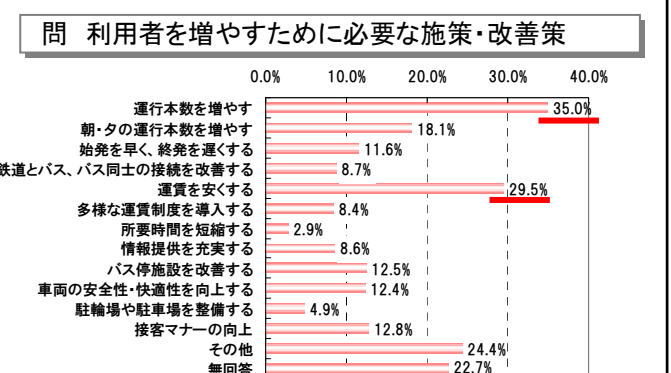


○「運賃を安くする(23.1%)」が2割以上と多い。

### ■バス(回答数=631名)



○利用目的は「買物」、「通勤・通学」となっており、乗車券種は半数近くが「ですか(SF)(44.1%)」となっている。



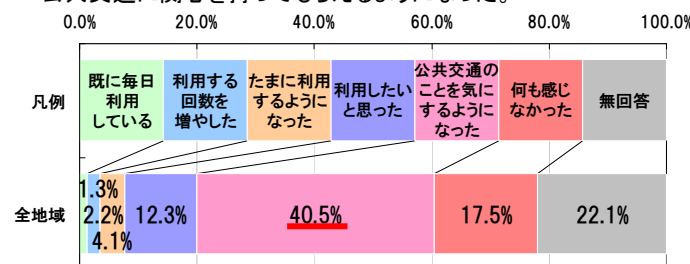
○「運行本数を増やす(35.0%)」が3割以上と多い。

※返送数(中央地域1,770名、東部地域677名、西部地域831名)

### ■全地域:中央地域・東部地域・西部地域(3,278名)

問 新聞広告(みんなで考えよう公共交通)をはじめ、様々な利用促進のための広報を行っています。このような広告を見て公共交通を利用するようになりましたか。

○「公共交通のことを気にするようになった(40.5%)」が4割と、公共交通に関心を持ってもらえるようになった。



問 公共交通に関するお知らせなどについて、どのような手段で情報を入手していますか。(複数回答可)

○「新聞」と「テレビ」がともに3割以上占めている。

